

## 2025 年度第 3 四半期決算について

2026 年 1 月 29 日

東京電力ホールディングス株式会社

当社は、本日、2025 年度第 3 四半期〔2025 年 4 月 1 日～2025 年 12 月 31 日〕の連結業績についてとりまとめました。

売上高は、販売電力量の減少等により、前年同期比 3,511 億円減の 4 兆 6,121 億円となりました。

経常損益は、販売電力量の減少による減収があったものの、燃料費等調整制度の期ずれ影響が好転したことなどにより、前年同期比 11 億円減の 3,475 億円の利益となりました。

また、特別損失に原子力損害賠償費 706 億円や、災害特別損失 9,056 億円を計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純損益は、6,626 億円の損失となりました。

(単位：億円)

	当第 3 四半期 (A)	前年同期 (B)	比 較	
			A－B	A／B (%)
売 上 高	46,121	49,633	△ 3,511	92.9
営 業 損 益	2,584	3,110	△ 526	83.1
経 常 損 益	3,475	3,487	△ 11	99.7
特 別 損 益	△ 9,762	△ 647	△ 9,114	－
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 損 益	△ 6,626	2,431	△ 9,058	－

## 【セグメント別の経常損益】

2025 年度第 3 四半期のセグメント別の経常損益は以下のとおりです。

- ・ 東京電力ホールディングス株式会社の経常損益は、子会社からの受取配当金が増加した一方で、卸電力販売が減少したことなどにより、前年同期比 117 億円減の 1,194 億円の利益となりました。
- ・ 東京電力フュエル&パワー株式会社の経常損益は、JERA において海外・再エネ発電事業利益が増加したことなどにより、前年同期比 392 億円増の 899 億円の利益となりました。
- ・ 東京電力パワーグリッド株式会社の経常損益は、需給調整に係る費用が減少したことなどにより、前年同期比 198 億円増の 1,241 億円の利益となりました。
- ・ 東京電力エナジーパートナー株式会社の経常損益は、販売電力量の減少などにより、前年同期比 160 億円減の 1,386 億円の利益となりました。
- ・ 東京電力リニューアブルパワー株式会社の経常損益は、卸電力販売が減少したことなどにより、前年同期比 56 億円減の 459 億円の利益となりました。

(単位：億円)

	当第3四半期 (A)	前年同期 (B)	比 較	
			A－B	A／B (%)
経 常 損 益	3,475	3,487	△ 11	99.7
東京電力ホールディングス	1,194	1,312	△ 117	91.1
東京電力フュエル&パワー	899	507	392	177.4
東京電力パワーグリッド	1,241	1,042	198	119.0
東京電力エナジーパートナー	1,386	1,546	△ 160	89.7
東京電力リニューアブルパワー	459	515	△ 56	89.1

【2025年度業績予想】(2026年1月26日に公表した業績予想から変更はありません)

2025年度の業績予想について、売上高は、販売電力量の減少などにより、前年比3,480億円減の6兆4,620億円程度となる見込みです。

経常損益は、主に燃料費等調整制度の期ずれ影響の好転などにより、前年比230億円増の2,770億円程度の利益となる見込みです。

また、親会社株主に帰属する当期純損益は、災害特別損失の計上などにより、8,020億円減の6,410億円程度の損失となる見込みです。

以 上

添付資料

・ [決算概要](#)

- ・「決算短信等」については[こちら](#)をご覧ください。
- ・「特別損益の計上に関するお知らせ」については[こちら](#)をご覧ください。